ソーラー・フード・ドライヤー

組立／取扱説明書

この度は非電化工房製「ソーラー・フード・ドライヤー」をお買い上げいただきまことにありがとうございました。

ご使用の前に「組立時の注意」「使用上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

非電化工房

各部の名称

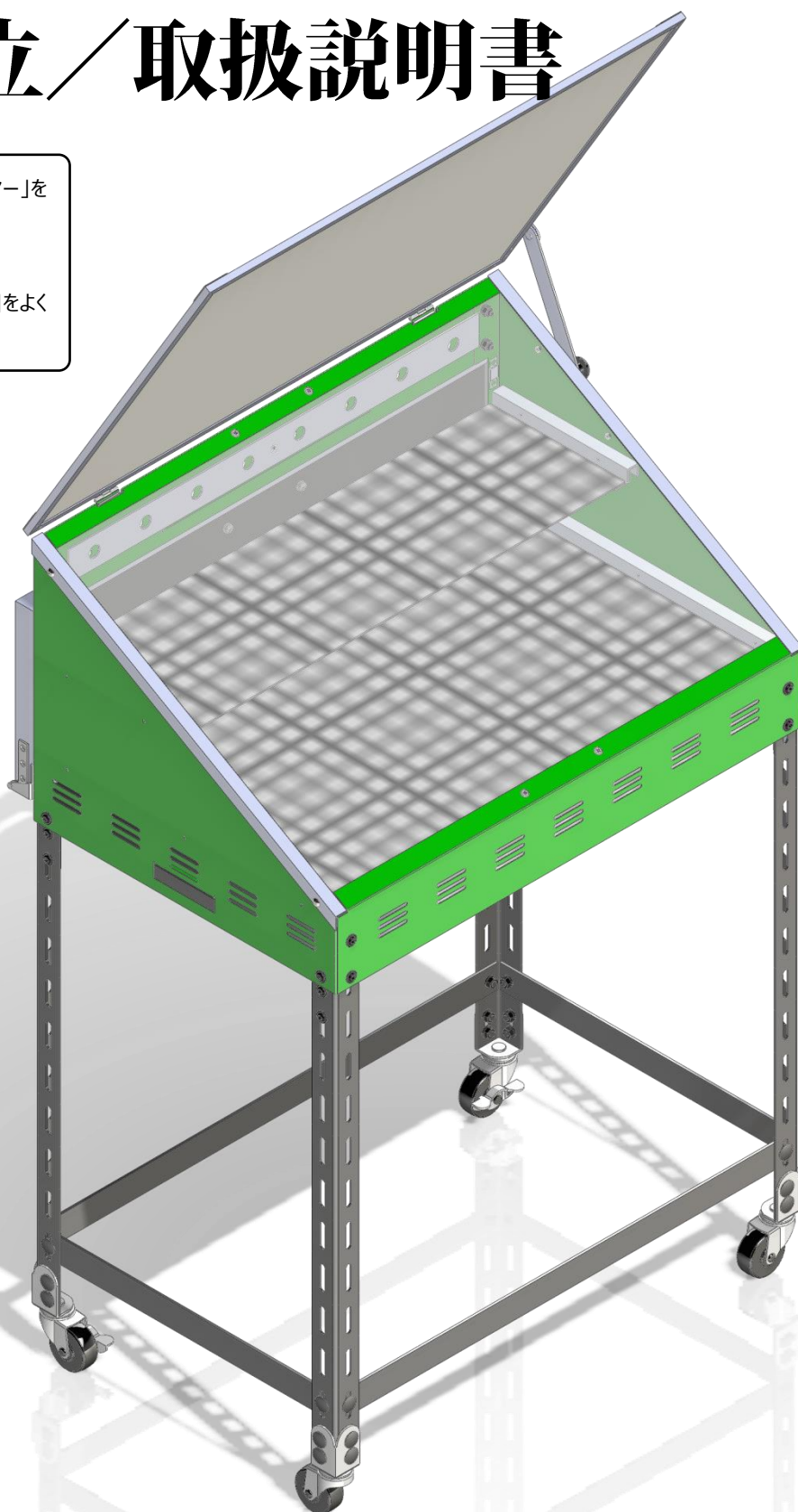
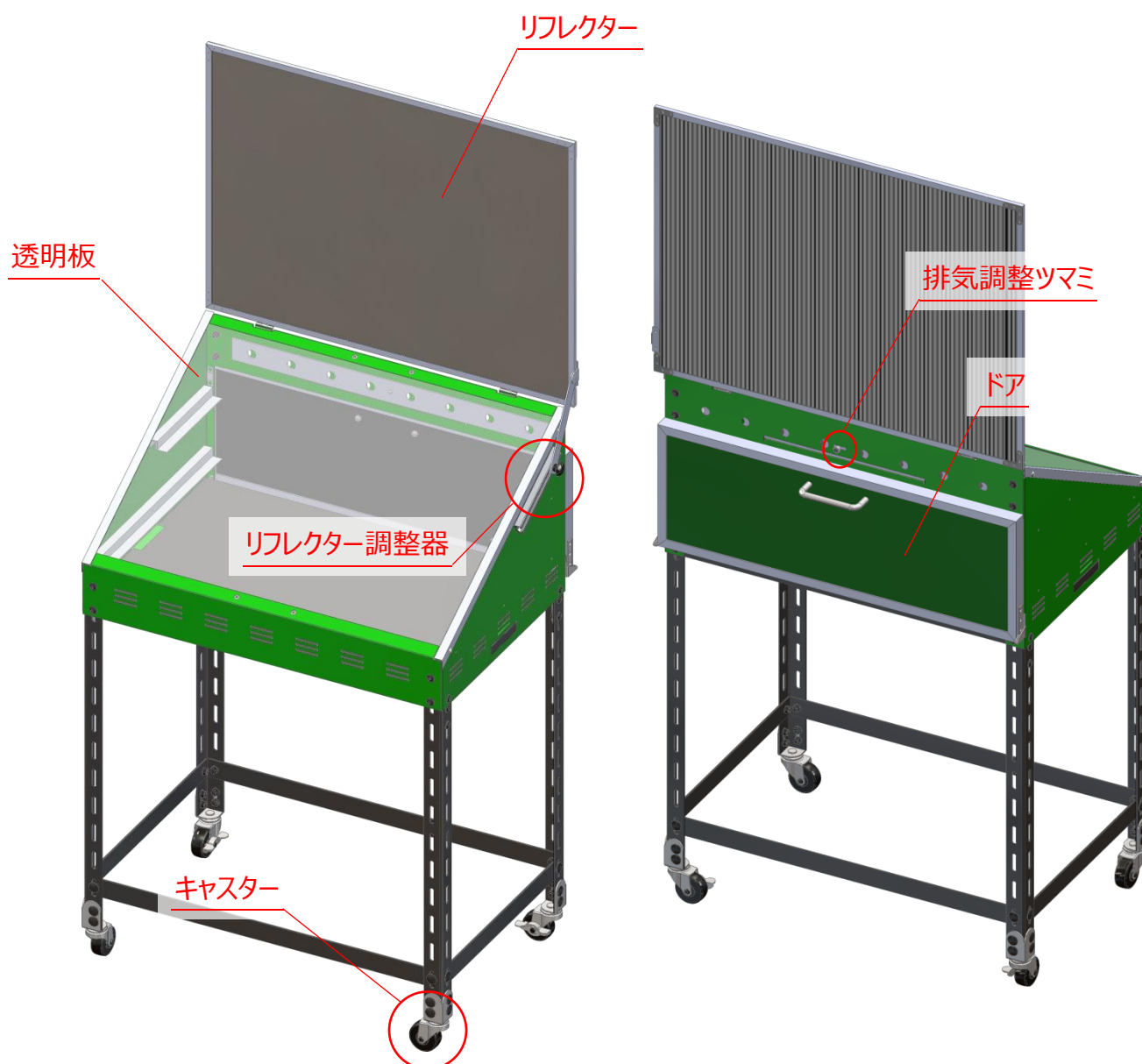
リフレクター

透明板

排気調整ツマミ

ドア

リフレクター調整器

キャスター

作業人数

２人以上

組立難易度

むずかしめ

工具

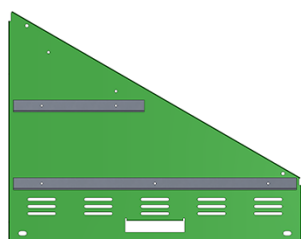
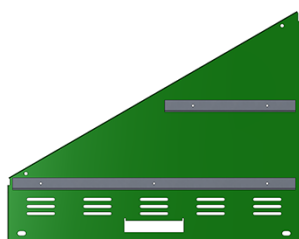
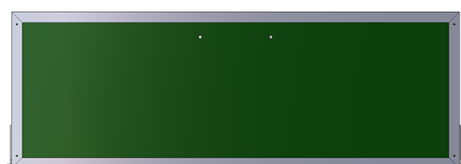
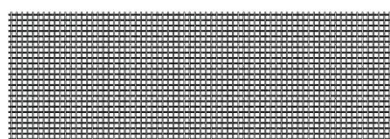
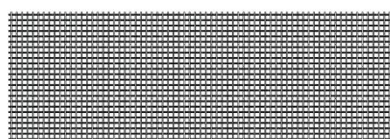
必要

組立時の注意

- ✓ 組み立てはパーツを支えながらネジを締めるなどの作業が必要なため、二人以上で行ってください。
- ✓ 組み立ての前に各パーツの数量を確認し、説明書の手順に沿って組み立てを行ってください。
- ✓ 組み立ての際には手や指を挟んだりしてケガをしないように十分ご注意ください。また、一部のパーツは角部が鋭くなっていることがありますので、作業用手袋の着用をおすすめします。
- ✓ 本品の組み立ては一般組み立て家具などに比べて難易度が高めになっています。十分な時間をかけて慎重に組み立てを行ってください。
- ✓ 組み立ての際には床や家具などに傷がつかないようご注意ください。
- ✓ ネジ類は外観の似た物があります。個包装袋にふられた番号を取扱説明書の記載と見比べ、間違いのないよう組み立ててください。
- ✓ 部品の不良により万一組み立てが不可能な場合は当該部品を交換いたします。非電化工房までご相談ください。
- ✓ どうしても途中で組み立てが困難になった場合は、引き取りの上で組み立て代行（有償）をいたします。ご相談ください。

使用上の注意

- ✓ 安定した平らな場所でお使いください、使用時は必ずキャスターのストッパーをかけてください
  不安定な場所で使うと製品が移動や転倒し、ケガや機器の破損の原因となるおそれがあります。
  また、不慮の移動を防ぐため、移動時以外はキャスターのストッパーを必ずかけてください。
- ✓ 強風時には使用しないでください
  リフレクター部が風を受けると不慮の移動や転倒を起こし、ケガや機器の破損につながるおそれがあります。
- ✓ やけどにご注意ください
  快晴時には内部の温度が思った以上に上がることがあります。特に黒色金属部分は高温になりやすいのでやけどしないようご注意ください。
- ✓ ドアを開け閉めするときは必ず片手で本体を押さえてください。
  ドアのみを強く引っ張ると本体が転倒するおそれがあります。
- ✓ 使用しない時は屋内や軒下などで直射日光や雨を避けて保管してください。
  紫外線による塗装の劣化や水によるサビを防ぎ、より長くお使いいただけます。
- ✓ ご使用前にキャスターの状態を確認してください
  保管環境によってはキャスターのゴムが経年劣化を起こすことがあります。ゴムの劣化が進んだ場合はキャスターを交換してください。
- ✓ 水にぬれた場合は乾いた布などで拭き取ってください。
  水に濡れた状態が続くとサビの原因になります。
- ✓ 金網は消耗品です。サビが目立つようになりましたら交換してください。

部品一覧

① 左パネル
② 右パネル
⑪ 透明板
③ 正面パネル
⑫ リフレクター
④ 背面パネル
⑤ 底パネル
㊲ 排気調整バー
⑥ ドア
⑭ 断熱パネル
⑦ 脚アングル x 4
⑧ 補強バー(長) x 2
⑬ コーナーカバー 左右各 1
⑨ 補強バー(短) x 2
⑮ ハンドル
⑯ リフレクター調整レール
⑩ キャスター x 4
内 ストッパーなし x 2
ストッパー付き x 2
⑰ 透明板固定金具 x 2
⑱ 断熱パネル固定金具 x 4
⑲ 金網（大）
⑳ 金網（小）

ネジ類一覧

袋を開封する際は異なるネジが混ざらないようにご注意ください

No.	サイズ	数量
21	M6	x22
22	M6	x24
23	M6	x46
24	M6	x46
25	M5	x2
26	M3	x4
27	M3	x4
28	M5	x4
29	M4	x4
30	M4	x4
31	M3.5	x2
32	M3.5	x2
33	M3	x4
34	M3	x1
35		x1
36		x1

必要な工具（本製品には含まれていません　別途ご用意ください）

ヤスリ

スパナ（5.5、6、7、10㎜）

六角棒レンチ（4㎜）

プラスドライバー（#1、#2）

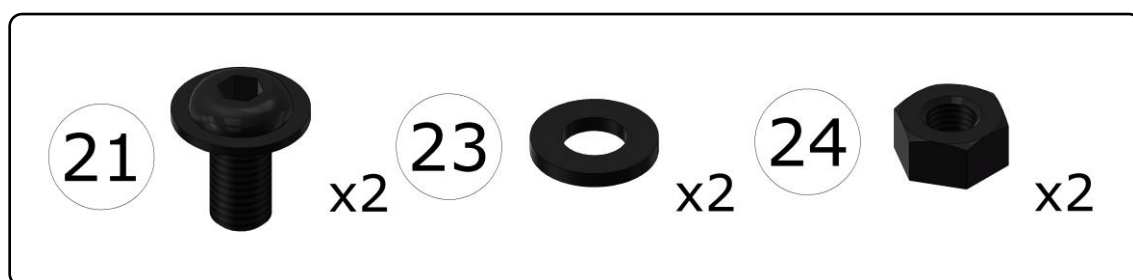
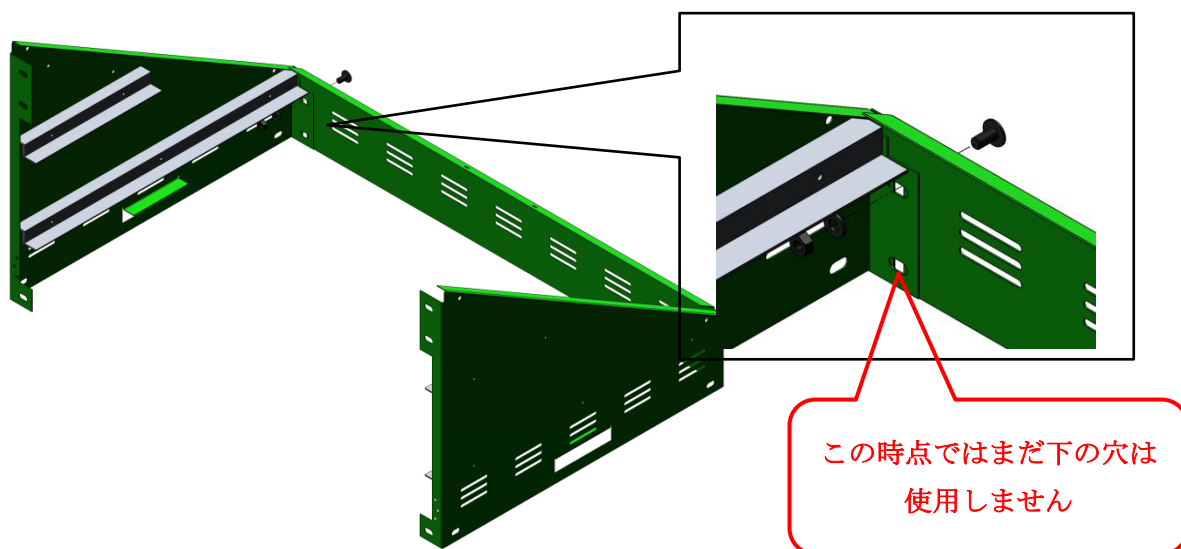
組立手順

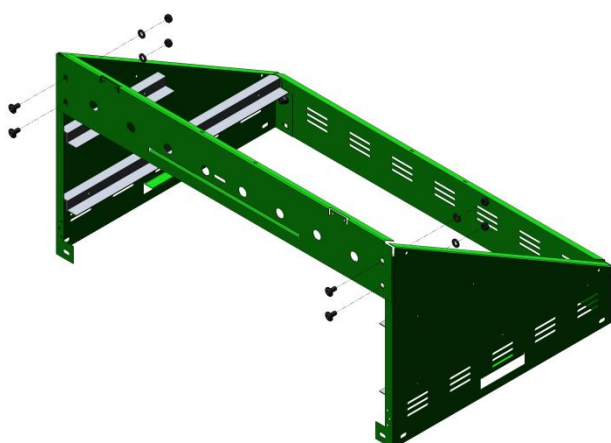
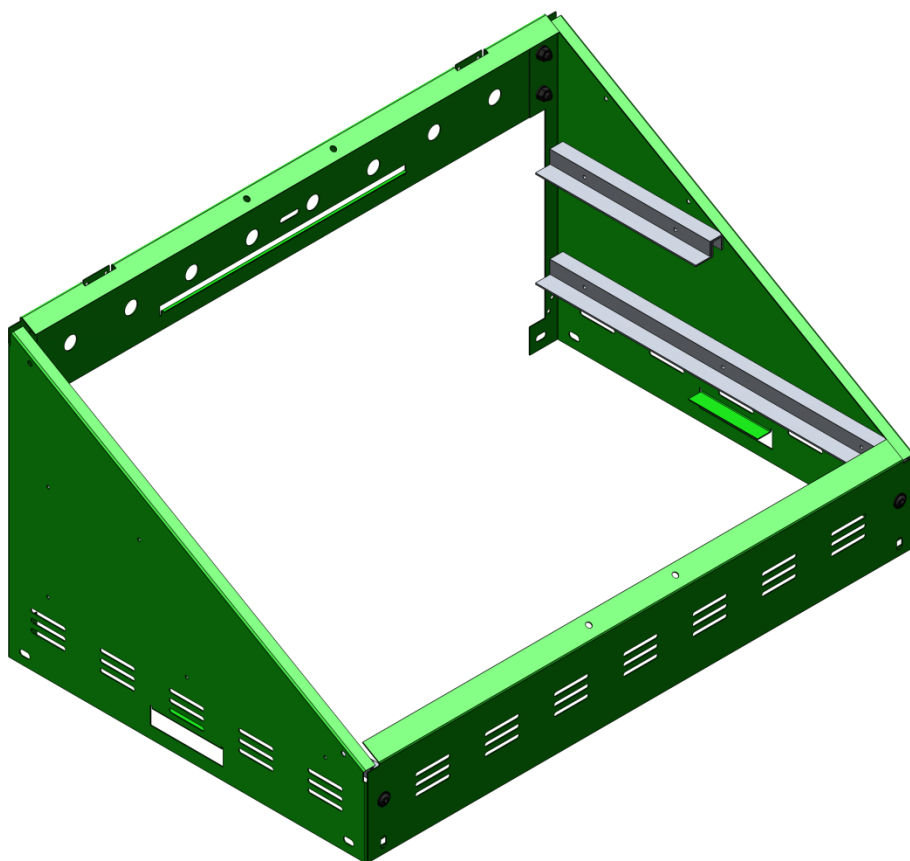
A.　本体フレームの組み立て

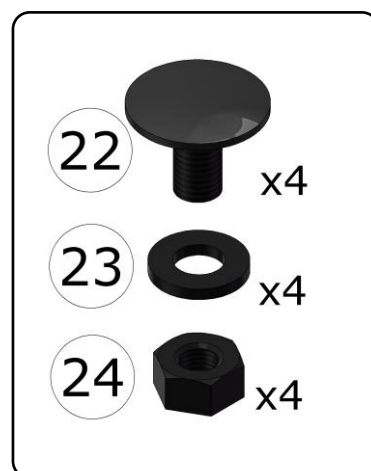
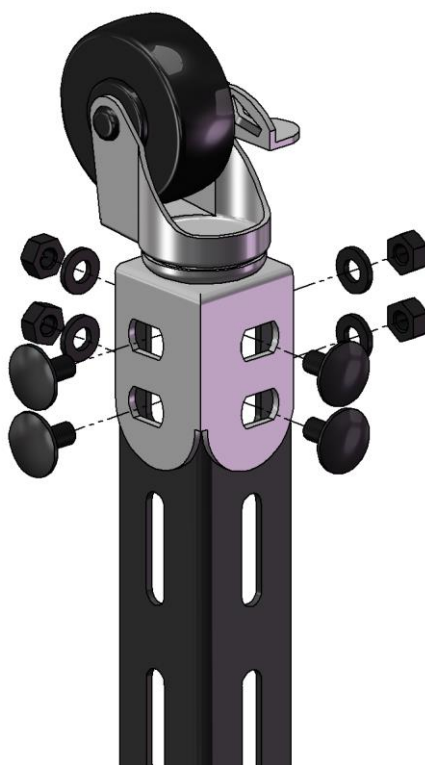
1.　①左パネル、②右パネル、③正面パネルを㉑六角穴付ネジ㉓ワッシャー㉔ナットを使って下図のように組み立てます。

　※ この時点ではネジは軽く止める程度としてください。後の工程で全体を調整しながらしっかりと締め付けます。

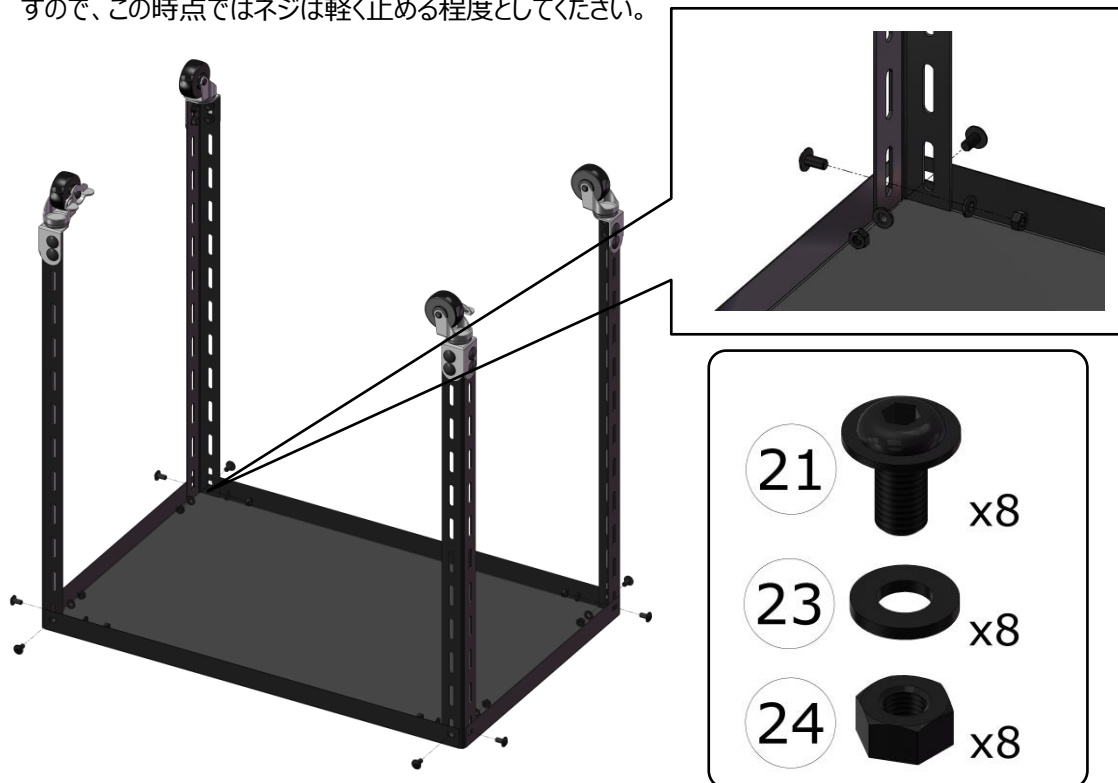
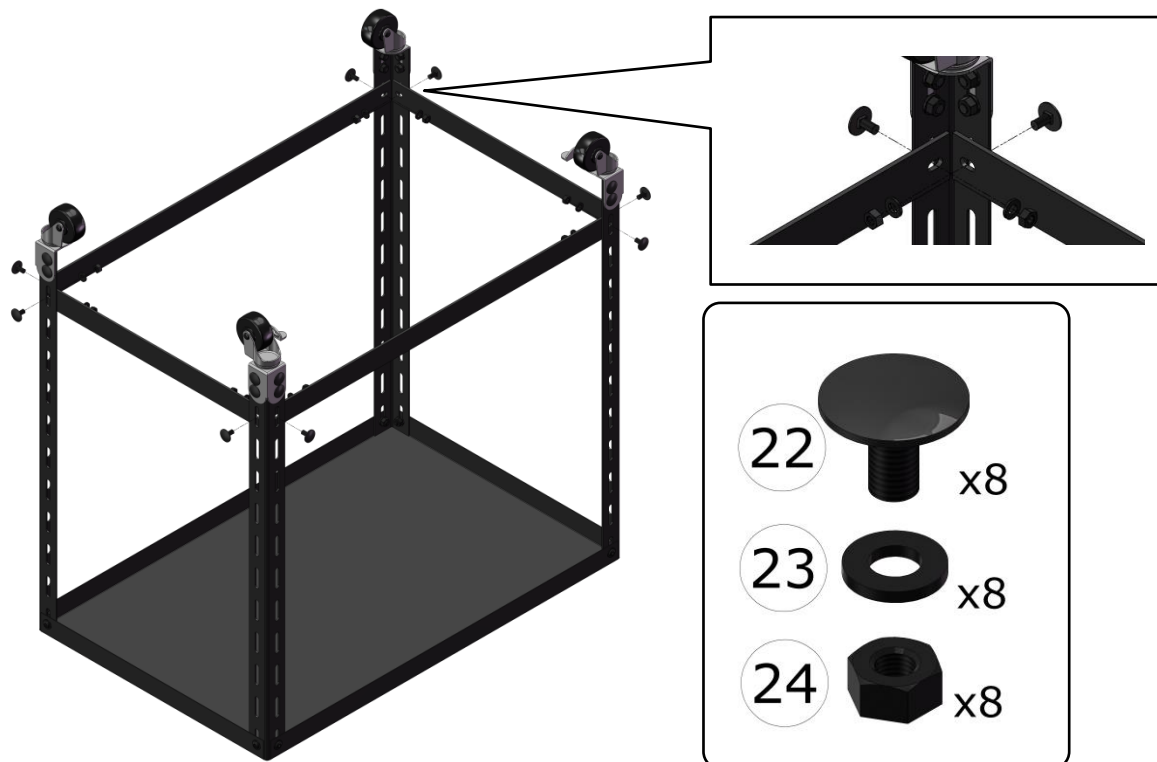
この時点ではまだ下の穴は
使用しません

21 x2　23 x2　24 x2

2.　同様に④背面パネルを取り付けます。

　※ この時点ではネジは軽く止める程度としてください。後の工程で全体を調整しながらしっかりと締め付けます。

この時点での組立状態

B.　ワゴン部の組み立て

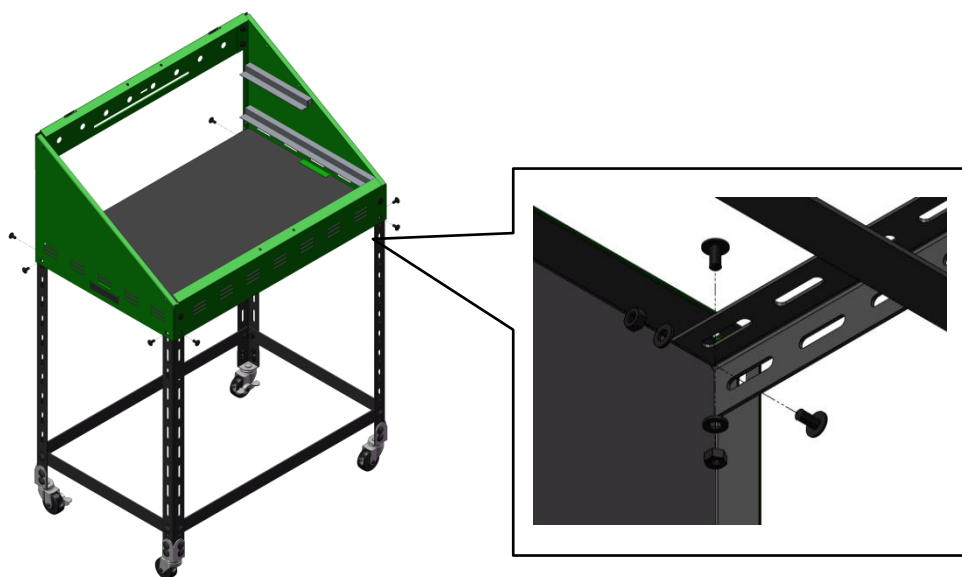
1.　⑦脚アングルの先端に⑩キャスターを取り付けます。

2.　残り 3 本の⑦脚アングルについても同様に⑦キャスターを取り付けます。⑩キャスターは全 4 個の内 2 個はブレーキ付き、2 個はブレーキなしとなっていますので確認してください。

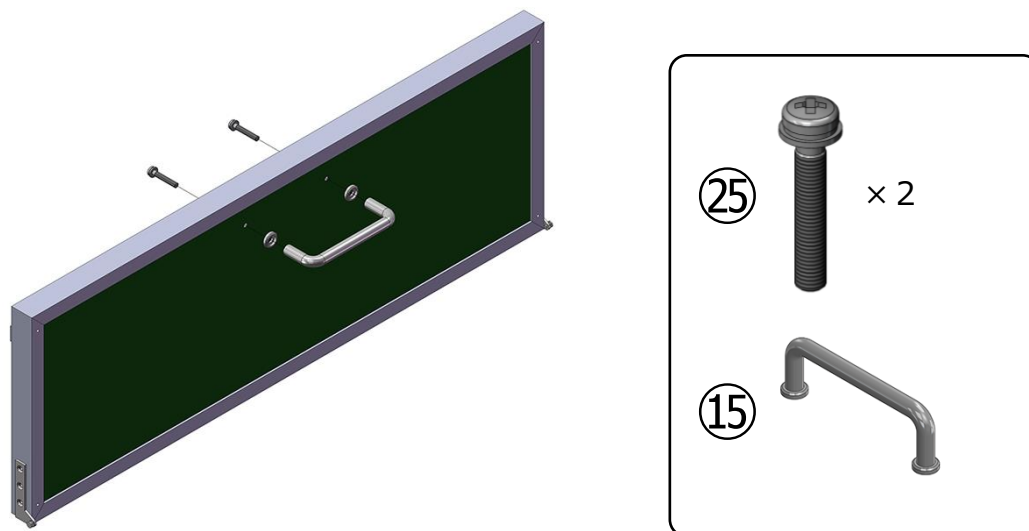
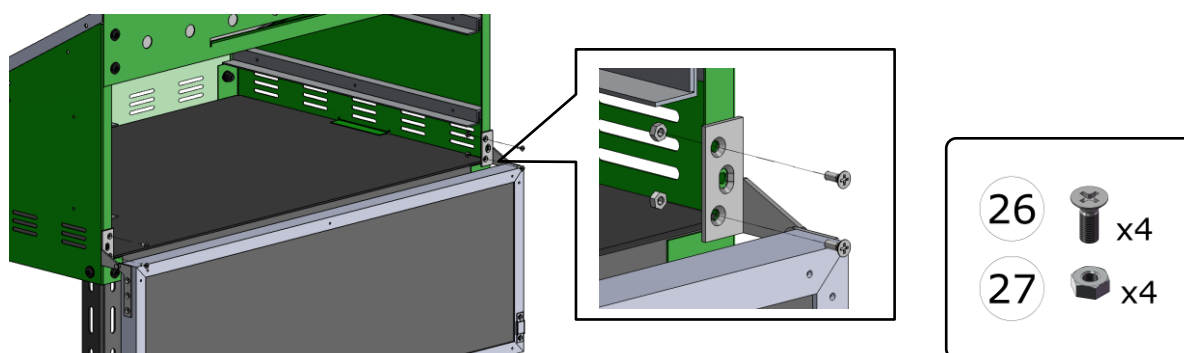
3.　⑤底パネルを裏返して置き、各角部の**内側**に⑦脚アングルを取り付けます。ブレーキ付きとブレーキなしのキャスターの位置は好みの位置に配置してください。

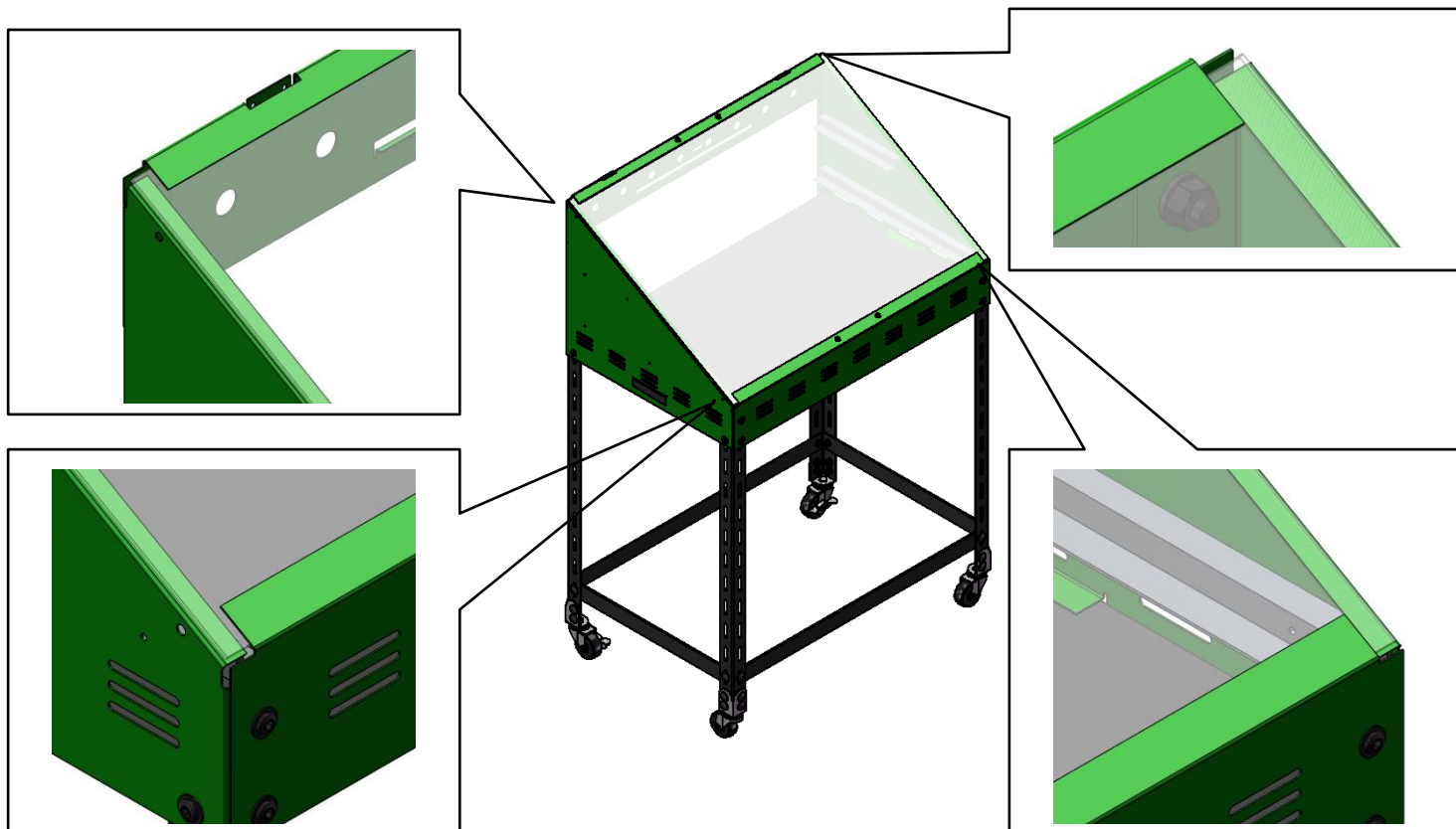
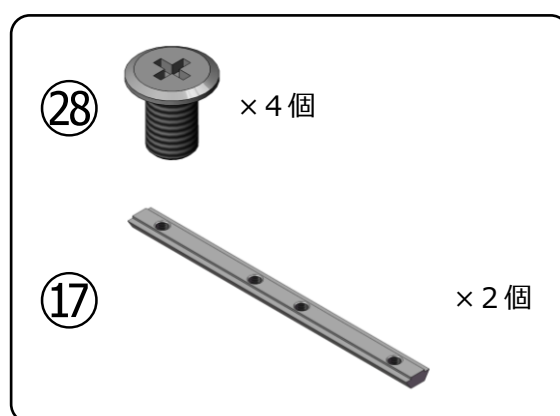
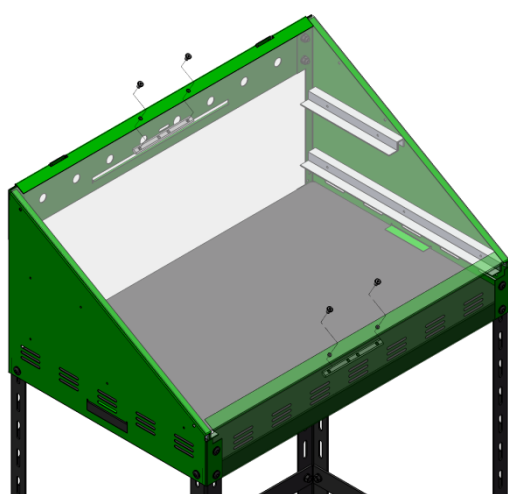
※ この手順は組み立てを容易にするための仮止めです。ここで取り付けたネジは後の手順で一度取り外しますので、この時点ではネジは軽く止める程度としてください。

4.　⑧補強バー（短）、⑨補強バー（長）を下図のように⑦脚アングルに取り付けます。（取り付け位置はお好みの場所で構いません）

5.　裏返して置きます

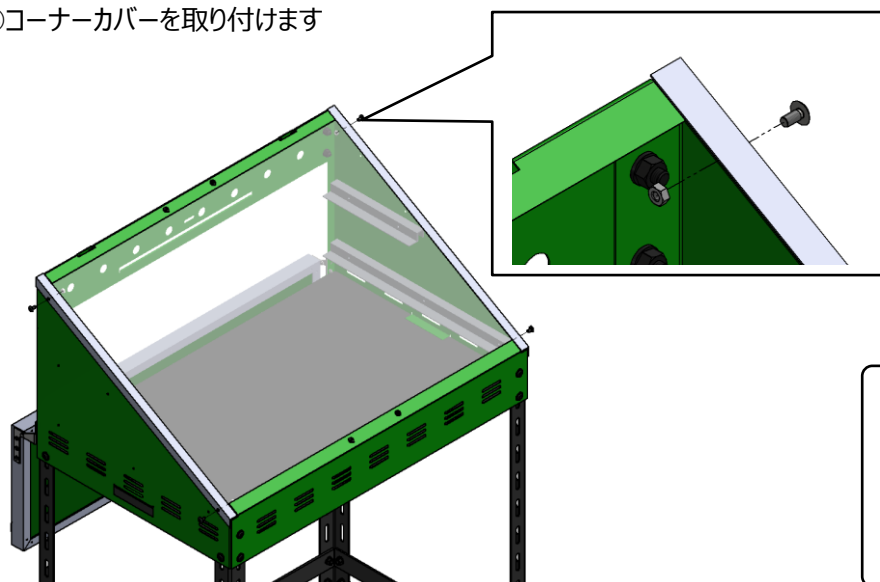
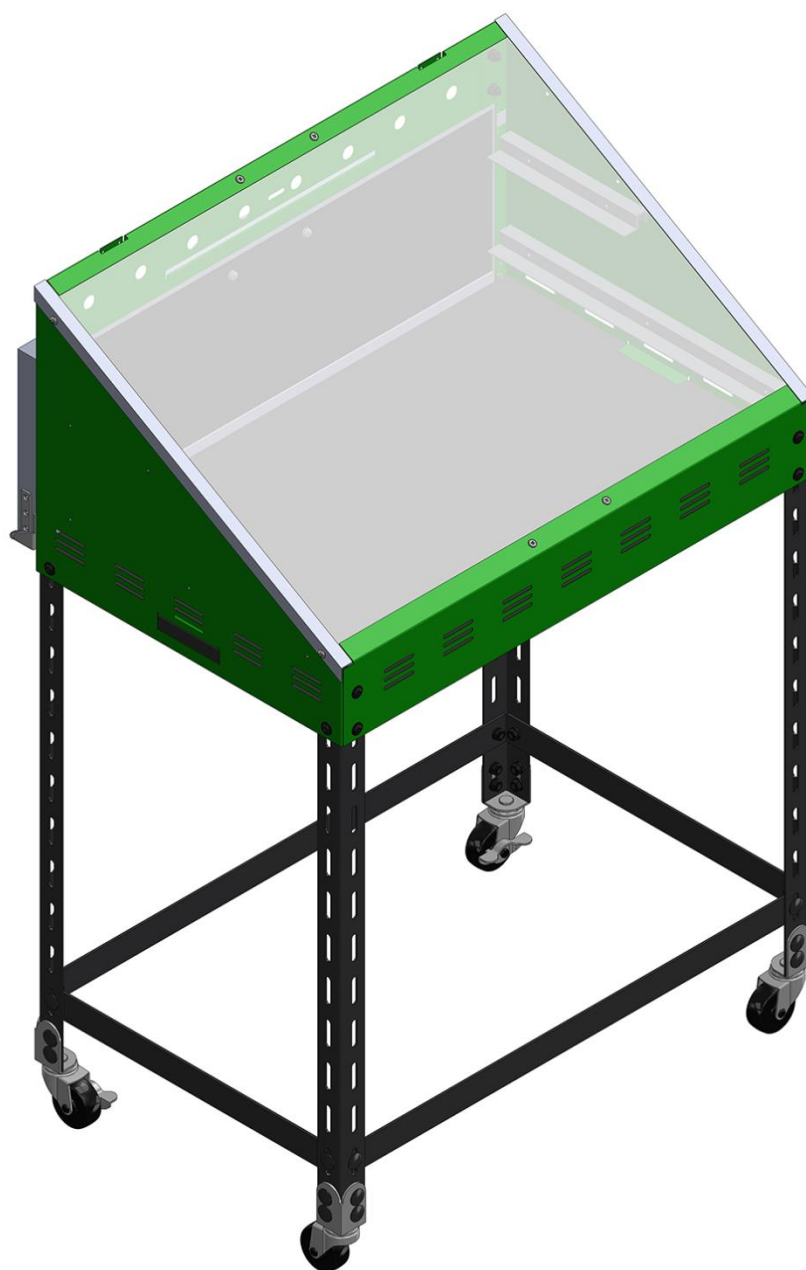
C.　本体フレームとワゴンを結合する

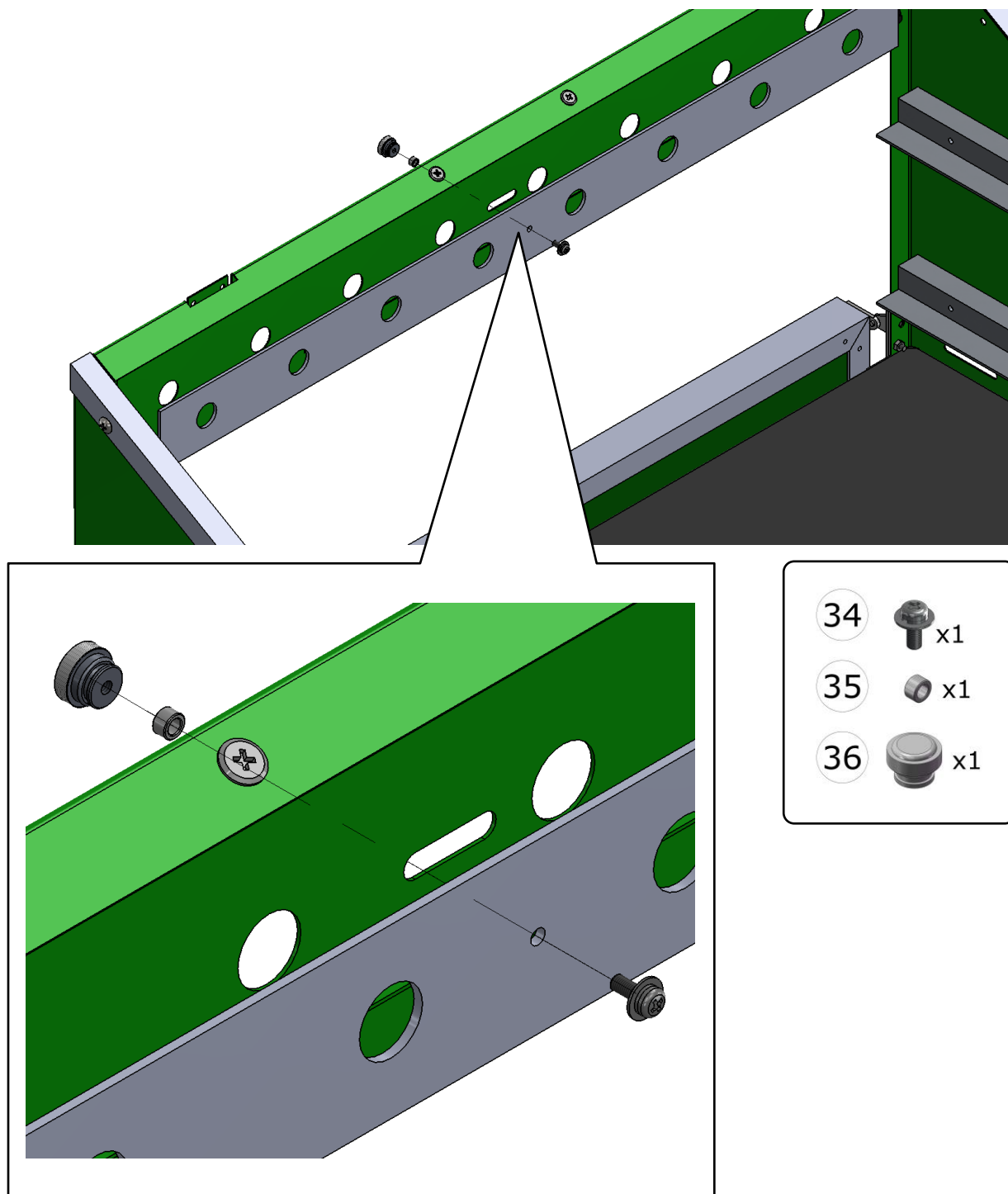
1.　手順 B-3 で取り付けた⑤底パネルを取り付けているネジ８箇所を、全て取り外します。

2. 手順 A で組み立てた本体フレームをワゴン部に被せ、前の手順で取り外したネジで再度固定します。
※ この時点ではネジは軽く止める程度としてください。後の工程で全体を調整しながらしっかりと締め付けます。

D. ドアを取り付ける

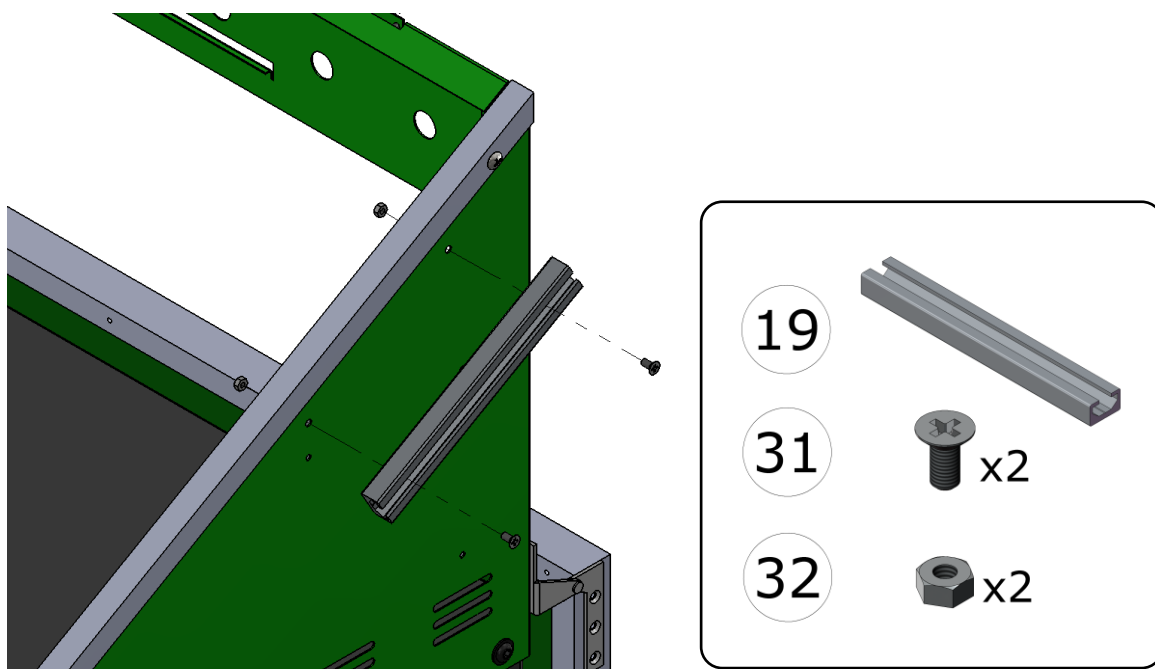
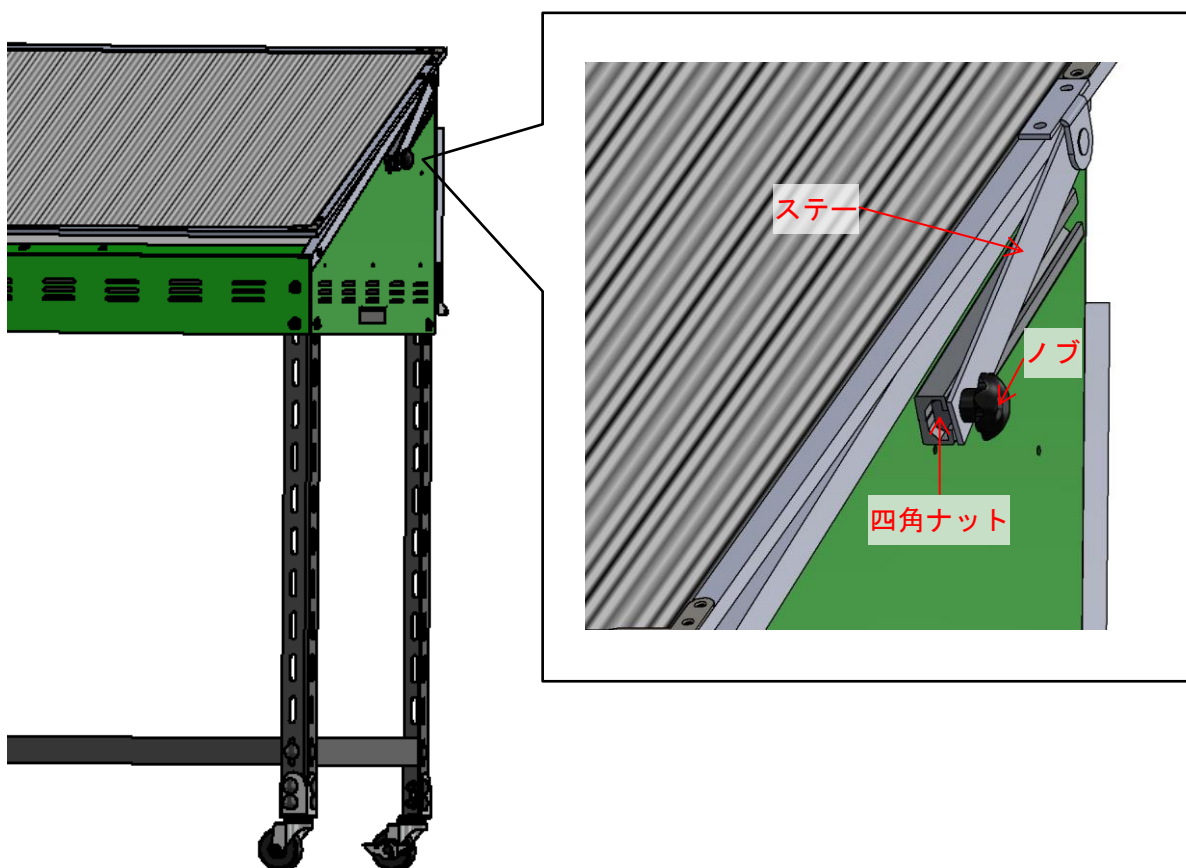
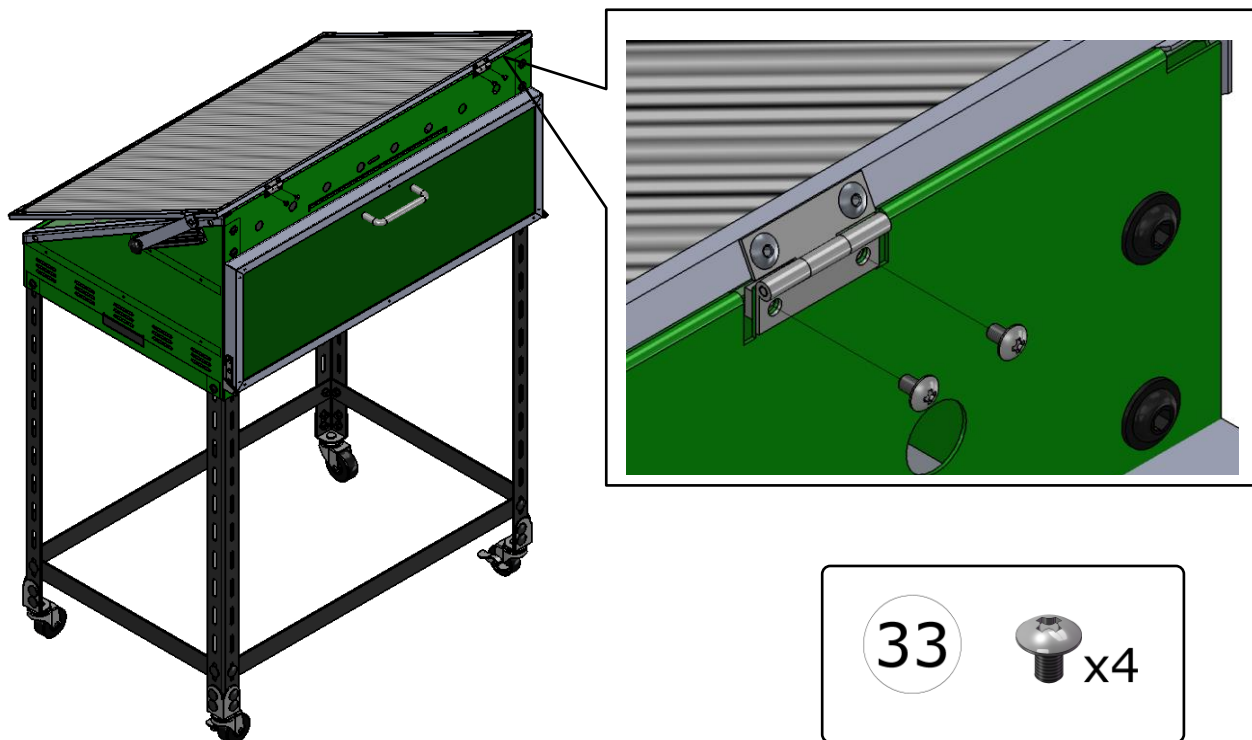
1. ⑥ドアに下図のように⑮ハンドルを取り付けます。

2. ドアをヒンジ部分で本体フレームに取り付けます。ナットが入りづらい時は本体フレーム各所のネジを少し緩めて持ち上げ気味にして取り付けてください。またナットの平らな部分が底板側に来るようにナットの向きを調整し、ネジ側を回転して締め付けてください。

E. 透明板を取り付ける

1. ⑪透明板の保護紙を剥がし、下図のように本体フレームにセットします。透明板は上下の向きがあります。切り欠きが背面パネル側にくるようにしてください。
   ①左パネル、②右パネルは⑩透明板の**下**に入り、③正面パネル、④背面パネルは⑪透明板の上に被さります。下図を参考に、本体フレームの各パネルと、透明板の重ね順に注意して組み立ててください。組み立ての際には透明板が定位置に収まるよう、本体フレーム各部のネジを適宜緩めてください。

2. ⑰透明板固定金具と㉘のネジを使い、⑪透明板を本体フレームに固定してください。

3. 全体のゆがみができるだけ少なくなるよう、全体のバランスを調整しながらこれまで取り付けた全てのネジを増し締めします。ネジの締め付けは一箇所ずつ固く締めるのではなく、少しずつ全体を締め付けていくとゆがみが少なくなります。

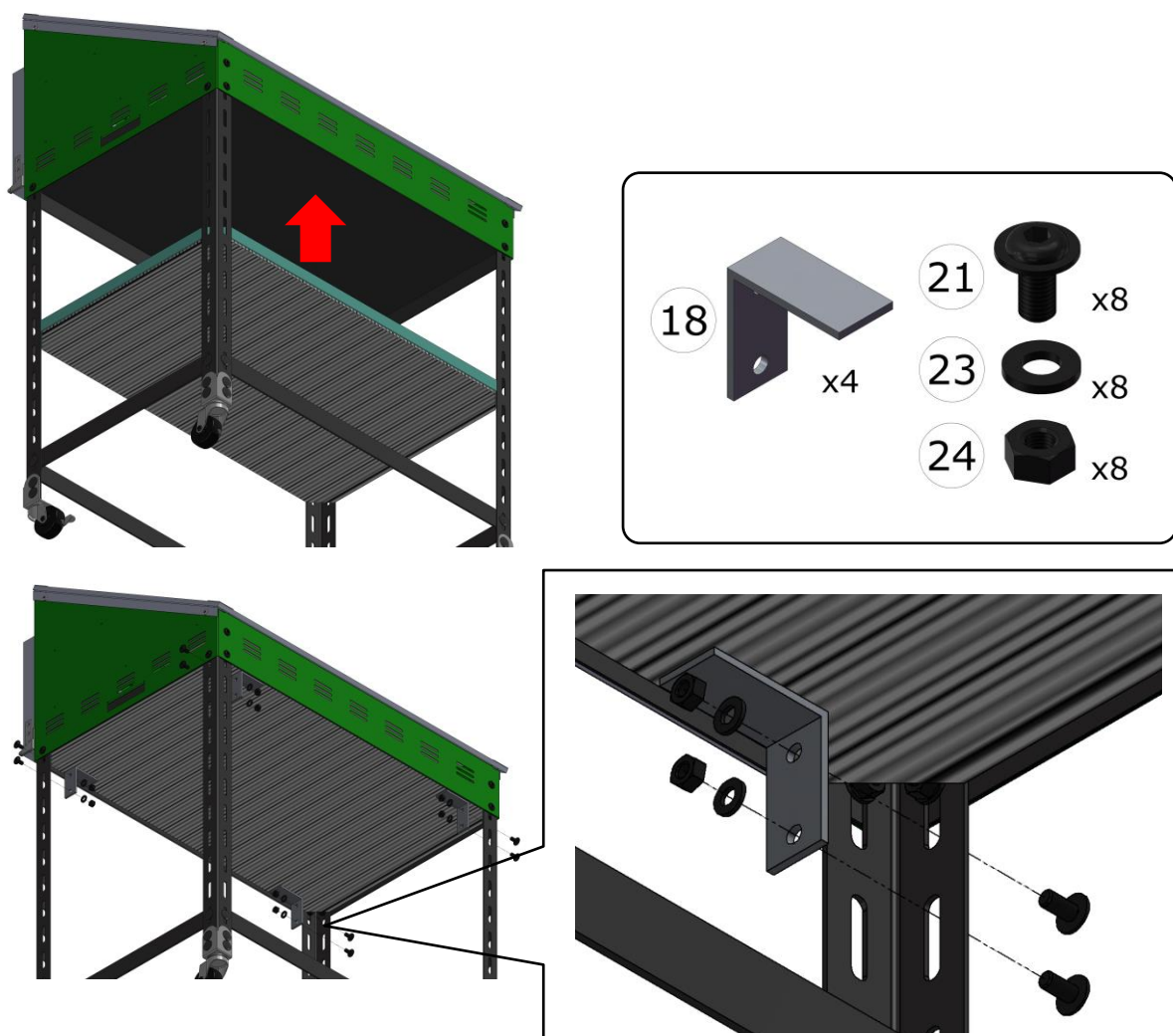
4.　⑬コーナーカバーを取り付けます

5.　ここまでの組み立て状態を確認し、ゆがみなどがあれば修正します。

F.　排気調整バーを取り付ける

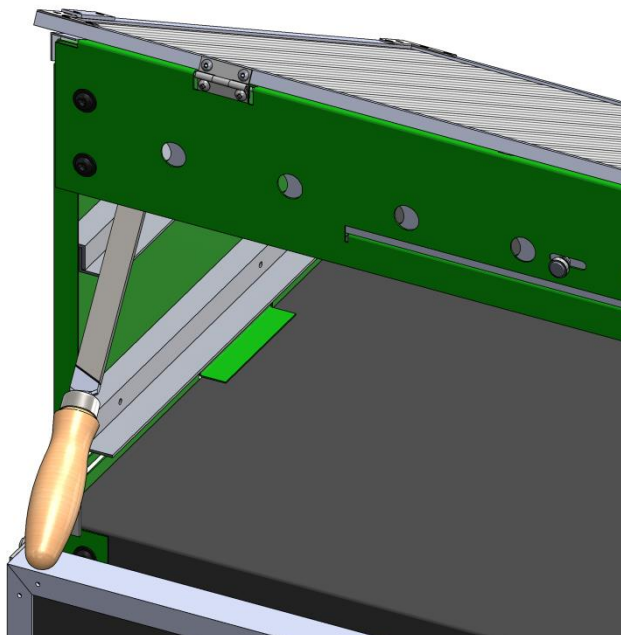
1. ⑬排気調整バーの白色の保護フィルムをはがします。
2. 下図のように⑬排気調整バーと㊱ツマミを取り付けます。排気調整バーとツマミの間に㉟スペーサーが入ります。スペーサーは小さい部品なので紛失に注意してください。

排気調整バーを左右にスライドをさせて背面排気穴を開閉することにより、内部温度や水蒸気の抜け具合を調整することができます。過熱による機器の損傷を防ぐため、本体の穴位置に比べて排気調整バーは若干短く設計されており、全閉状態にしても少量の排気穴が残ります。

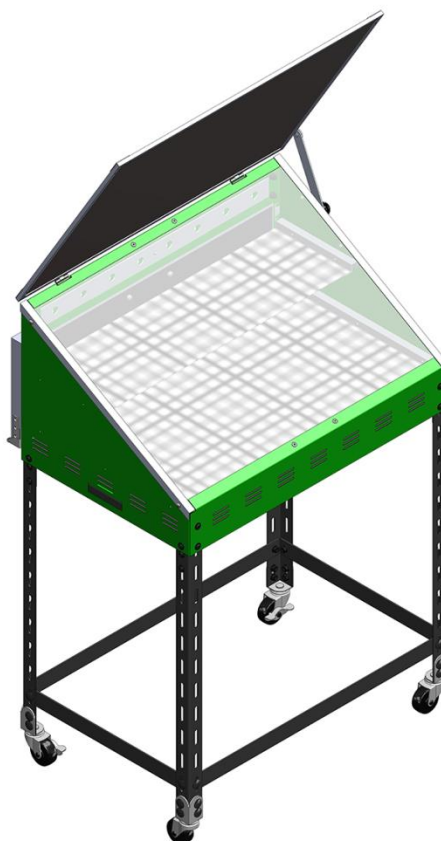
G. リフレクターを取り付ける

1. ⑲リフレクター調整レールを①左パネルに取り付けます。

2. ⑫リフレクター側面のステー先端についている四角ナットを⑲リフレクター調整レールの溝にスライドさせて通します。必要に応じてステー先端のノブを緩めて調整してください。

3. リフレクター背面のヒンジを下図のように本体フレームにネジで取り付けます。

H. 断熱材の取り付け

1. ⑤底パネルの裏面に、⑭断熱パネルを下から入れ、⑱断熱パネル固定金具を使って固定します。

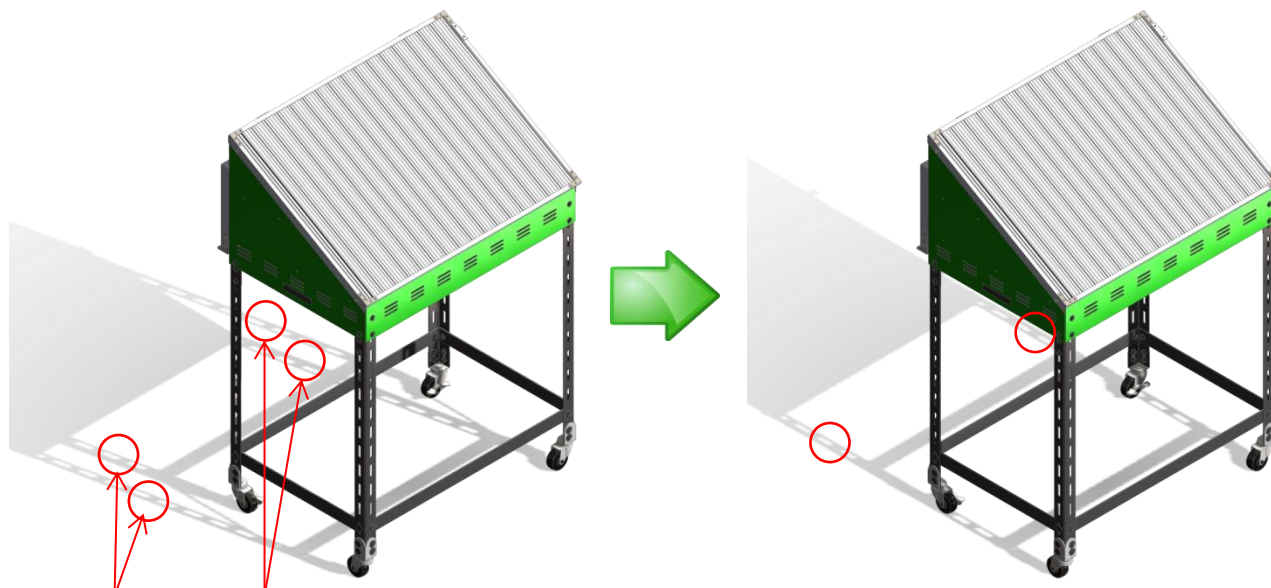
18 x4
21 x8
23 x8
24 x8

I.　仕上げ

アルミ製パーツの角部など、気になる箇所があればヤスリで角を丸めて仕上げます。黒色や緑色の塗装部については、ヤスリがけをすると塗装が剥がれサビが発生しやすくなりますのでご注意ください。

J.　ネットの設置

本体内部側面のレールにそれぞれ⑲金網（大）、⑳金網（小）を載せ、組み立ては完成です。次ページ以降の使用方法に従ってお使いください

使用方法

ドライフード作りは、できるだけよく晴れた日の午前中に開始してください。曇天下では太陽光が十分に得られず、本品の性能を発揮することができません。

1. 野菜、果物、キノコ、ハーブ、肉、魚介など、乾燥させたい食品を付属の金網に載せ、本体内にセットします。食品は薄くスライスしておくとより早く乾燥させることができます。

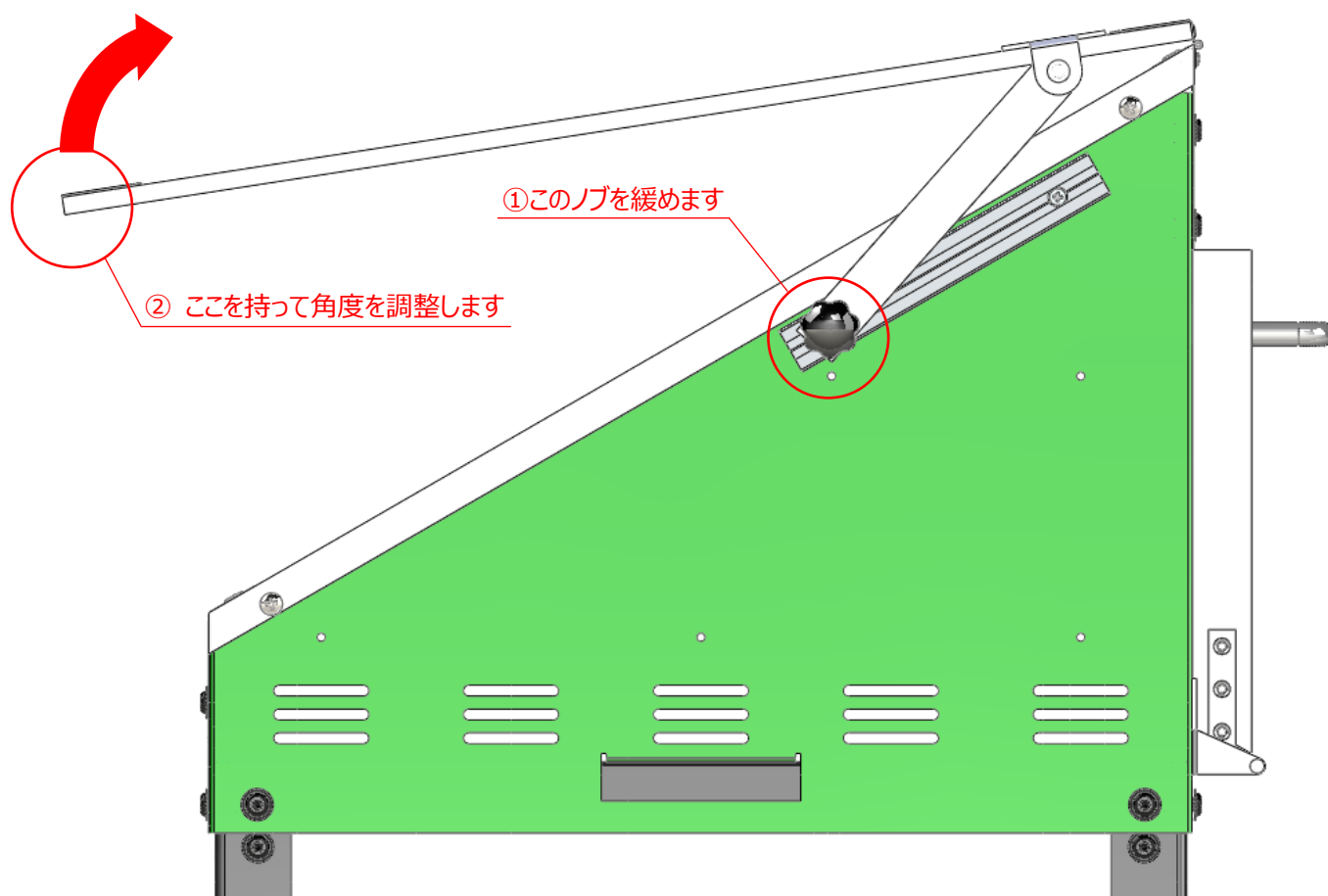
2. 本体を太陽に向けます。下図のように前側の脚の影と後側の脚の影が重なるように調整すると太陽に正対します。

3. リフレクターの角度を調整します。

① ノブを緩めます。

② 反射光が概ね庫内に入るようにリフレクターの角度を合わせます。

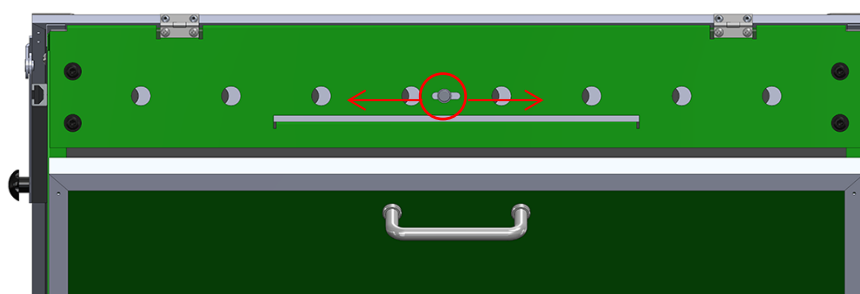
③ ノブを締めて固定します。

①このノブを緩めます

② ここを持って角度を調整します

リフレクターの角度調整は必ずノブを緩めた状態で行ってください。ノブが締められたまま角度を変えるとパーツの変形や破損につながるおそれがあります。

4. 排気調整バーを左右にスライドして、湯気で透明板が曇らないように排気量を調整します。

最適な開閉度合いはその日の気温や天気、内部の食品の水分量などによって変化します。一般に排気口を閉じると内部の温度が上がり乾燥時間の短縮につながりますが、湯気によって透明板が曇ってしまうと太陽光が遮られるため返って性能が低下することがあります。透明板が曇らない範囲で排気口を開くか、または細かな調整を省く場合は常時全開の状態でご使用ください。

過熱による機器の損傷を防ぐため、本体の穴位置に比べて排気調整バーは若干短く設計されており、全閉状態にしても少量の隙間が残ります。

お問い合わせ・修理のご依頼は

組み立て、使用方法などに関するお問い合わせ、修理のご依頼は電子メール、FAX、または郵送にて承ります。下記の宛先までご相談ください。

電子メール　: info@hidenka.net
FAX　: 0287-77-3198
郵送　: 〒329-3222 栃木県那須町寺子丙 2783-22 非電化工房

よくあるお問い合わせについてはホームページ上に回答を掲載しています。
http://www.hidenka.net/faq/

仕様

消費電力	なし	**質量**	約 15 kg
本体寸法	幅×奥行×高さ 670mm×480mm×980mm （およその寸法　リフレクター折畳時）	**干し網寸法**	上段: 600㎜ × 185㎜ 下段: 600㎜ × 400㎜

株式会社非電化工房
〒329-3222　栃木県那須町寺子丙 2783-22